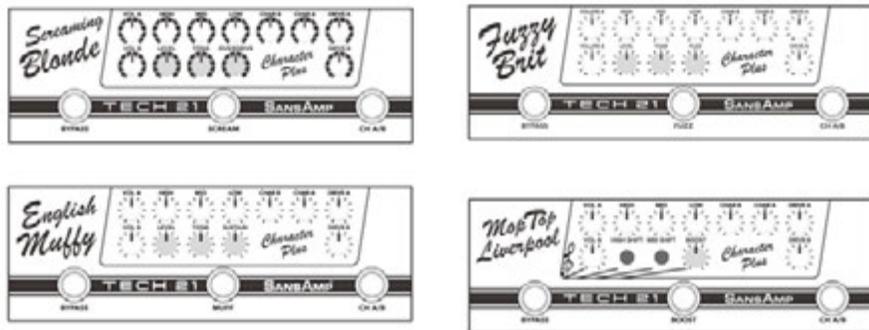


# SansAmp™ Character Plus Series TECH 21



## USER GUIDE

### 1 はじめに

2008年に発売されたオリジナルのSansAmpキャラクターシリーズは、各時代のアンプの個性を表現した全8種類のペダルで、いくつかのノブをひねるだけで最も人気のあるトーンを作り上げ、自分だけの愛機にすることができ、希少なヴィンテージ・クラシックから轟音のモダン・アイコンまで、すべてのパリエーションが独自の個性的なサウンドを持ったペダルでした。私たちは、音色の選択肢を広げたいと考え、そのコンセプトをエフェクトにまで発展させました。

特定の組み合わせには歴史に残るものがあるからです。

例えば、Ralph & Alice、Fred & Wilma、Lucy & Ricky、Abbott & Costello。

Bonnie & Clyde彼らは皆、たくさんの個性的なサウンドを作り、楽しんでいたので。

Character Plusシリーズは、特定の歴史的なアンプとエフェクトとのユニークな化学反応を賞賛し、巧みに一つのパッケージにまとめています。

**Screaming Blonde** = Fender + Tube Screamer-style  
**English Muffy** = HiWatt + Big Muff-style  
**Fuzzy Brit** = Marshall + Fuzz Face-style  
**Mop Top Liverpool** = Vox + Rangemaster Booster-style

豊富なコントロールを備えた2チャンネルのキャラクタープラスシリーズは、当社独自の100%アナログ SansAmpテクノロジーを搭載しています。ノブを回すだけで、各アンプ・スタイルにおける様々な時代を探求し、お好みに作り込むことができます。連続可変のCharacterコントロールは、数十年にわたるサウンドの全トーンレンジを自在にコントロール可能にします。キャラクター、EQコントロール、スピーカーシミュレーションは、各アンプスタイルに固有の個性を反映させるために、個別に設定されています。さらにこれらのマルチファンクション・ペダルは、ストンプボックスの中にストンプボックスを組み込んだような状態といえます。アンプエミュレーションを単独で使用することも、エフェクトを単独で使用することも可能です。Character Plusシリーズ・ペダルは、低価格で大きな柔軟性と価値を提供します。お気に入りの1台に絞るもよし、コレクションするもよし。また、全てのペダルを集めて、友人と交換するのもクールですね！

### 2 接続

#### アンプとの接続:

##### プリアンプとして接続:

本製品の出力を直接パワーアンプINPUT(またはアンプの「エフェクトリターン」)に接続します。これによりアンプのプリアンプ部をスルーして本機でコントロール可能です。

##### 外部エフェクトとして接続:

1/4 インチ出力をアンプのフロント入力(メインの入力端子)に接続します。最良の結果を得るには、アンプへの入力が過負荷にならないように、本機のレベルを必ずユニティゲイン(出力レベルが本機の ON/OFF 時でほぼ同じ状態)に近づけてください。

#### ダイレクトにレコーディングする:

XLRまたは1/4"フォン出力をミキサー/レコーダーの入力に直接接続します。ミキサー/レコーダーの入力レベルを調整して入力レベルを調整してください。本機のレベルが12時を下回っていても過負荷になっている場合は、それぞれの出力レベルスイッチを使って出力を下げます。これらのフルレンジシステムは幅広い周波数に対応しています。まずは12時のEQレベルから始めてください。

### 3 入出力

#### 1/4" フォン入力:

1/4"フォン1MΩ、インストゥルメントレベル。入力信号は通常のギターと同じレベルである必要があります。(およそ250mV)。

**注意:絶対にアンプのスピーカー・アウトから本機の入力に直接接続しないで下さい。アンプや本機が故障する恐れがあります。**

#### 1/4" フォンユニバーサル出力:

アンバランス1kΩローインピーダンスインストゥルメントレベル。この出力は、ハイインピーダンスのギターアンプ(またはエフェクト)とローインピーダンスのミキサーおよびコンピューターの入力に接続できます。ペダルがバイパスモードのとき、出力レベルはユニティゲインです。また、バイパス中も本機のバッファーによりケーブルによる信号ロスを低減します。

#### XLR 出力

バランスドXLR ローインピーダンスアウトプットです。

## 4.1 SCREAMING BLONDE コントロール

### SANSAMPセクション:

※シグナルフロー順に詳細説明しています。

#### DRIVE A/DRIVE B:

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。真空管アンプのオーバードライブを再現します。回し初めでは、歪みだけでなく、音量も大きくなります。

#### CHAR A/CHAR B:

Char AとChar Bは、どちらも同じレンジを持ちます。フェンダー・スタイルのアンプに関連する音色の全範囲を自在にコントロール可能です。周波数特性だけでなく、アタックとドライブの特性にも影響します。従って、本コントロールを調節した後、ゲインやトーンの設定を再度調節する必要があります。

#### 各設定範囲について:

**12時より低い:** ブラックフェイス&シルバーグリルの系列です。クリーンではソフトなミッドレンジと煌びやかなトップエンド、ドライブさせるとウォームなローエンドのブレイクアップに徐々に変わっていきます。

**12時周辺:** 低音、中音、高音のすべてが強調され、ブリッジの領域へと入っていきます。

**12時より高い:** Tweedの時代へと移行し、顕著なミッドレンジの唸りと中音域が強調されます。

#### LOW, MID, HIGH:

ポストEQセクションを搭載し、スタジオのミキシングボードのようなフルコントロールが可能です。カットするだけのパッシブ・トーン・コントロールとは異なり、±12dBのカットとブーストを行うアクティブ・コントロールを搭載。

Lowは125Hz

Highは3.2 kHz

Midは1kHzにチューニングされています。

#### VOL A / VOL B:

SANSAMPセクションの音量を調節します。

### Scream セクション:

#### OVERDRIVE:

全体のドライブ量を調節します。ギターとの音量と大きく相互作用します。

例えば、ペダルの設定を変更することなく、ギターのパリウムを下げることで歪みの量を調節できます。(極端な設定を除く)。

#### TONE:

高音域と中音域を調節します。最大でフラットです。

設定を下げると、中域を削ったり濁ったりすることなく高域を減少させます。

#### LEVEL:

Screamセクションの音量を調節します。

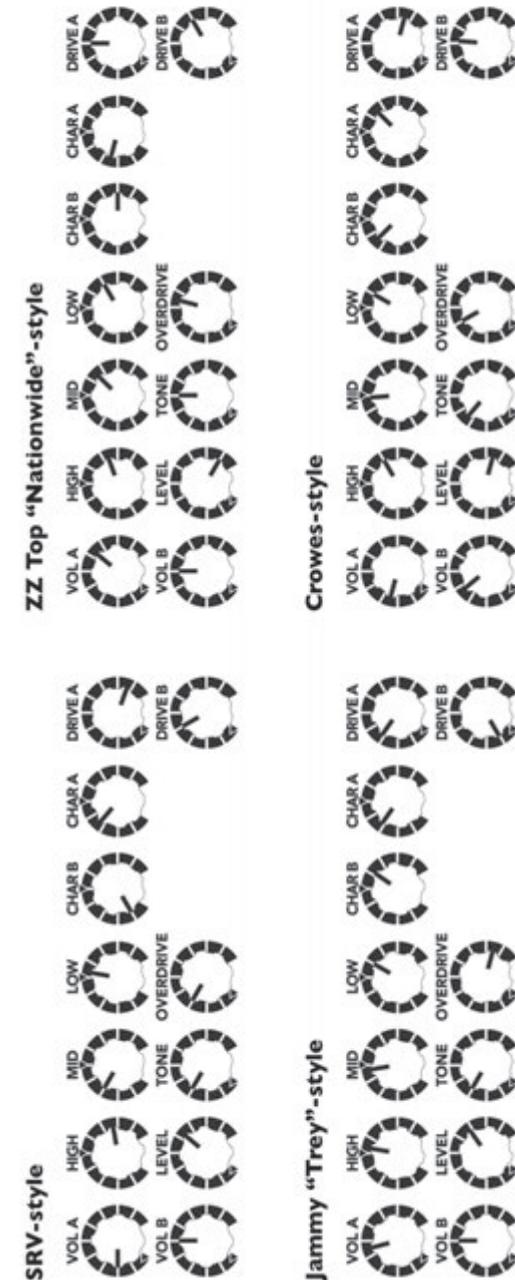
### スピーカーシミュレーション:

スピーカーシミュレーションは、SansAmpの回路に不可欠な要素です。

キャビネットを複数マイクでマイキングしたようなスムーズで均一なレスポンスを実現するよう設計されています。スピーカーカーブの形状がキャビネットの周波数特性に悪影響を与えたり、干渉したりすることはありません。スピーカーシミュレーションはEQコントロールと連動し、サウンド全体をカスタマイズすることができます。

Screaming Blondeではstandard 12" Jensen®スタイルスピーカー風にチューニングされています。

## SCREAMING BLONDE SAMPLE SETTINGS



Sample settings are based on using the appropriate instruments for the tones described. Names of sample settings are intended for descriptive purposes only and should not be construed as an endorsement or affiliation with the companies, products, or artists named.

## 4.2 ENGLISH MUFFY コントロール

### SANSAMPセクション:

※シグナルフロー順に詳細説明しています。

#### DRIVE A/DRIVE B:

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。真空管アンプのオーバードライブを再現します。回し初めでは、歪みだけでなく、音量も大きくなります。

#### CHAR A/CHAR B:

Char AとChar Bは、どちらも同じレンジを持ちます。HiWattスタイルのアンプに関連する音色の可能性の全範囲を自在にコントロール可能です。周波数特性だけでなく、アタックとドライブの特性にも影響します。従って、本コントロールを調節した後、ゲインやトーンの設定を再度調節する必要があります。

#### 各設定範囲について:

**12時より低い:** クリーンでクラシックなハイワットスタイルのトーンが得られます。

**12時周辺:** Who Are You, Baba O'Riley, We Won't Get Fooled Againなどの70年代THE Whoスタイルの曲と関連したクランチな領域にあなたを導きます。

**12時より高い:** Gilmour/Floydスタイルのリードのためのアッパーミッドを強調。

**最大:** あなたの仲間やリード・シンガーに逃げられるかもしれない。これは、ある状況下では望ましいことかもしれませんが。(笑)

#### LOW, MID, HIGH:

ポストEQセクションを搭載し、スタジオのミキシングボードのようなフルコントロールが可能です。カットするだけのパッシブ・トーン・コントロールとは異なり、カットとブーストを行うアクティブ・コントロールを搭載。

Shifting MID は +12dB @ 400 Hz から -12dB @ 750 Hz に

LOW と HIGH は、70年代のプリティッシュ・コンソール EQ をエミュレートしています。

LOW は +22dB ブーストまたは -12dB カット @ 120Hz に

HIGHは+30dBブーストまたは -12dBカット@3.2 kHzにチューニングされています。

#### VOL A / VOL B:

SANSAMPセクションの音量を調節します。

### Muff セクション:

#### SUSTAIN:

全体のファズの量を調節します。

#### TONE:

60年代のオリジナル・ストンプボックス・デザインに基づいた、非常に音楽的で特殊な1kHzを中心としたパッシブ・フィルターです。

#### LEVEL:

Muffセクションの音量を調節します。

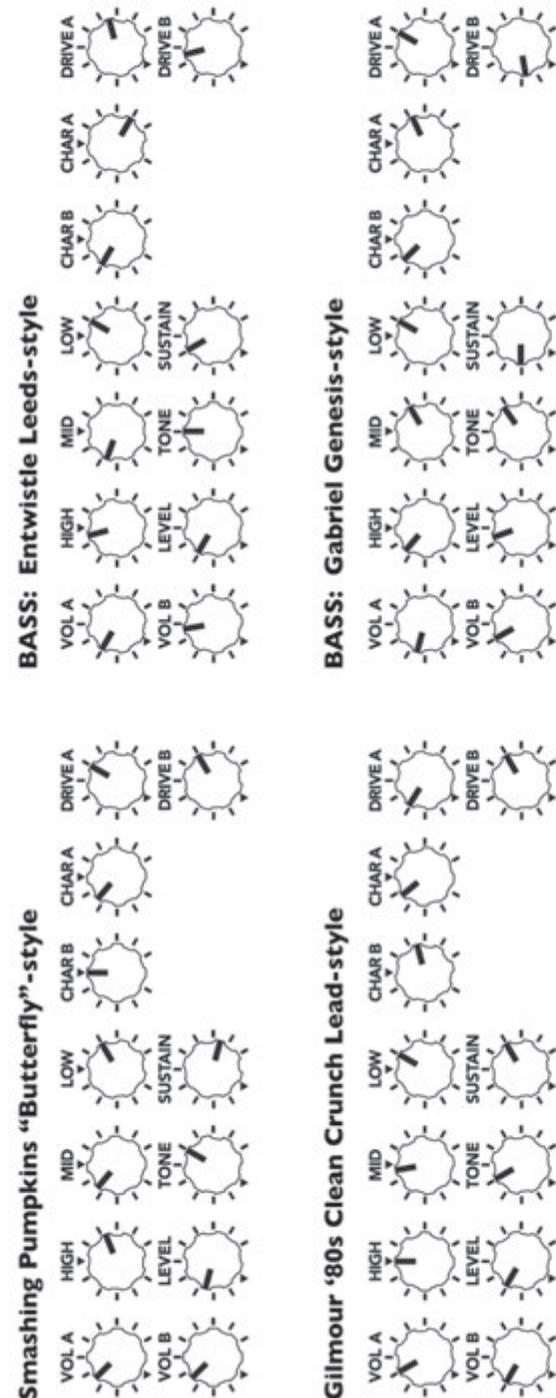
### スピーカーシミュレーション:

スピーカーシミュレーションは、SansAmpの回路に不可欠な要素です。

キャビネットを複数マイクでマイキングしたようなスムーズで均一なレスポンスを実現するよう設計されています。スピーカーカーブの形状がキャビネットの周波数特性に悪影響を与えたり、干渉したりすることはありません。スピーカーシミュレーションはEQコントロールと連動し、サウンド全体をカスタマイズすることができます。

English MuffyではFane®スタイルスピーカー風にチューニングされています。

## ENGLISH MUFFY SAMPLE SETTINGS



Sample settings are based on using the appropriate instruments for the tones described. Names of sample settings are intended for descriptive purposes only and should not be construed as an endorsement or affiliation with the companies, products, or artists named.

## 4.3 FUZZY BRIT コントロール

### SANSAMPセクション:

※シグナルフロー順に詳細説明しています。

#### DRIVE A/DRIVE B:

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。真空管アンプのオーバードライブを再現します。回し初めでは、歪みだけでなく、音量も大きくなります。

#### CHAR A/CHAR B:

Char AとChar Bは、どちらも同じレンジを持ちます。Marshallスタイルのアンプに関連する音色の可能性の全範囲を自在にコントロール可能です。周波数特性だけでなく、アタックとドライブの特性にも影響します。従って、本コントロールを調節した後、ゲインやトーンの設定を再度調節する必要があります。

#### CHAR A設定範囲について:

- 12時より低い:** Bluesbreaker/JTM45\*時代のプリティッシュ・ブルース、ブルドッグ・バイトが特徴のウォームでオーバードライブなトーンです。
  - 12時周辺:** Plexiの域に入り、中音域が強調されます。中音域の喉越しのよさが際立ちます。
  - 12時より高い:** 70年代のMetalfaceのような存在感のあるサウンドを実現します。
- 最大: 11になります。そう。あの11です。

#### LOW, MID, HIGH:

ポストEQセクションを搭載し、スタジオのミキシングボードのようなフルコントロールが可能です。カットするだけのパッシブ・トーン・コントロールとは異なり、±12dBのカットとブーストを行うアクティブ・コントロールを搭載。Lowは125Hzに高域は3.2kHzにMidは1kHzにチューニングされています。

#### VOL A / VOL B:

SANSAMPセクションの音量を調節します。

### Fuzz セクション:

#### FUZZ:

ファズの全体的な量を調節します。ギターとの音量と大きく相互作用します。例えば、ギターのパボリュームを下げればファズの量を減らすことができます(極端な設定を除く)。逆に、ギターのパボリュームを上げればファズの量を増やすことができます。

#### TONE:

非常に音楽的で、ハイカットを10kHz から 1kHz にシフトする特殊なローパスフィルターです。中域を失ったり、濁ったりすることなく、高域を除去することができます。

#### LEVEL:

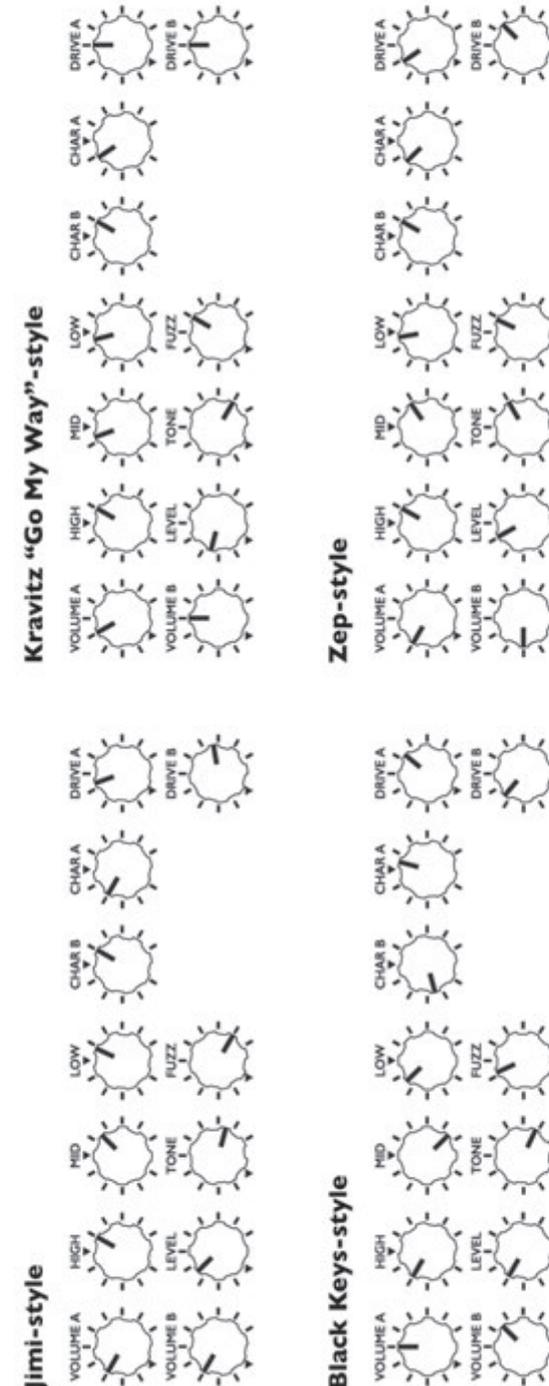
FUZZセクション全体の音量を調節します。

### スピーカーシミュレーション:

スピーカーシミュレーションは、SansAmpの回路に不可欠な要素です。キャビネットを複数マイクでマイキングしたようなスムーズで均一なレスポンスを実現するよう設計されています。スピーカーカーブの形状がキャビネットの周波数特性に悪影響を与えたり、干渉したりすることはありません。スピーカーシミュレーションはEQコントロールと連動し、サウンド全体をカスタマイズすることができます。

Fuzzy BritではEnglish Greenbackスタイルスピーカー風にチューニングされています。

## FUZZY BRIT SAMPLE SETTINGS



Sample settings are based on using the appropriate instruments for the tones described. Names of sample settings are intended for descriptive purposes only and should not be construed as an endorsement or affiliation with the companies, products, or artists named.

## 4.4 MOP TOP LIVERPOOL コントロール

※シグナルフロー順に詳細説明しています。

### SANSAMPセクション:

#### DRIVE A/DRIVE B:

ゲインとオーバードライブの全体的な量を調節します。真空管アンプのオーバードライブを再現します。回し始めでは、歪みだけでなく、音量も大きくなります。

#### CHAR A/CHAR B:

Voxスタイルのアンプに関連する音色の可能性の全範囲を自在にコントロール可能です。周波数特性だけでなく、アタックとドライブの特性にも影響します。

従って、本コントロールを調節した後、ゲインやトーンの設定を再度調節する必要があります。

#### CHAR A設定範囲について:

- 12時より低い:** Top Boostを9時に設定した場合のトーンを提供し、より喉越しの良いクリーンサウンドとウォームなオーバードライブトーンを実現します。
- 12時周辺:** クラシックなブリティッシュ・ミッドをもたらします。
- 12時より高い:** クランチやオーバードライブトーンに明瞭さを与えます。
- 最大:** アルニコスピーカーのアップパーミッドのパチパチ感を追加します。

#### CHAR B設定範囲について:

- 12時より低い:** Top Boostを3時に設定したような、低音と高音に富んだフルクリーンなサウンドを提供します。
- 12時周辺:** クラシックなブリティッシュ・ミッドをもたらします。
- 12時より高い:** ファットなローによるウォームなトーンを与えます。
- 最大:** ローミッドをブーストし、Top BoostモデルではないAC30スタイルのトーンを実現します。

#### LOW, MID, HIGH:

ポストEQセクションを搭載し、スタジオのミキシングボードのようなフルコントロールが可能です。カットするだけのパッシブ・トーン・コントロールとは異なり、±12dBのカットとブーストを行うアクティブ・コントロールを搭載。Lowは125Hzに高域は3.2kHzにMidは325Hzにチューニングされています。

#### MID SHIFT スイッチ:

Midの周波数を325Hzから250Hzにシフトします。

#### HIGH SHIFT スイッチ:

Highの周波数を3.2kHzから4.5kHzにシフトします。

#### VOL A / VOL B:

SANSAMPセクションの音量を調節します。

### Boost セクション:

#### BOOST:

1つのノブで2つのブーストが可能なユニークな構造を採用しています。12時がフラットです。

時計回りに回すと最大12dBのTreble Boostで、よりブライトに。60年代、70年代のヴィンテージのようなエッジの効いた明るい雰囲気になります。

反時計回りに回すと最大12dBのMid-Range Boost。ディストーション、リズム、リードのトーンをタイトにし、よりモダンな雰囲気を演出します。

### スピーカーシミュレーション:

スピーカー・シミュレーションは、SansAmpの回路に不可欠な要素です。

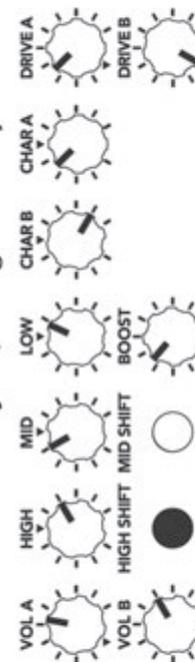
キャビネットを複数マイクでマイキングされようなスムーズで均一なレスポンスを実現するよう設計されています。スピーカー・カーブの形状がキャビネットの周波数特性に悪影響を与えたり、干渉したりすることはありません。スピーカー・シミュレーションはEQコントロールと連動し、サウンド全体をカスタマイズすることができます。

Mop Top LiverpoolではEnglish Alnico Bulldogスタイルスピーカー風にチューニングされています。

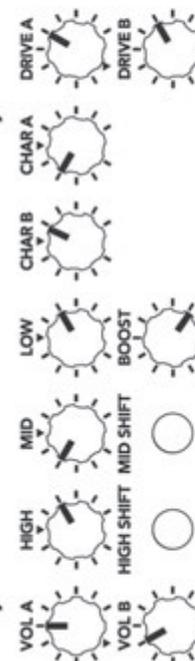
## MOP TOP LIVERPOOL SAMPLE SETTINGS

ON (IN)  OFF (OUT)

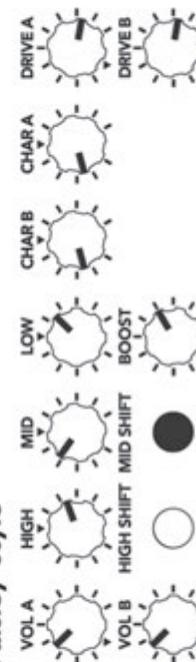
### Beatles "Get Back" John, George Lead-style



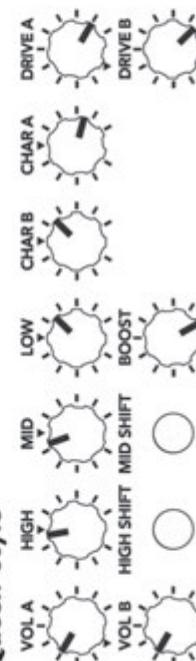
### Petty "Breakdown" Clean Crunch Lead-style



### Paisley-style



### Queen-style



Sample settings are based on using the appropriate instruments for the tones described. Names of sample settings are intended for descriptive purposes only and should not be construed as an endorsement or affiliation with the companies, products, or artists named.

## 5 使用上のヒント

- ◆ SansAmp とエフェクトの各セクションは独立しています。  
アンプエミュレーションを単体で使うことも、エフェクトだけを単体で使うこともできるのです。つまり、ストンプボックスの中にストンプボックスがあるようなものです。  
(このことは 何度も言いますが、製品概要をご覧ください。)
- ◆ 演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、楽器から直接接続してください。  
その他エフェクトを使用する際は一般的な使用方法として、  
本機の前:ブースター、コンプレッサー、ファズ、フェイザー、オーバードライブ、ワウ等  
本機の後:ディレイ、EQ、フランジャー、フェイザー、ピッチシフター、リバーブ等  
をおすすめしますが、お好みに合わせて配置してください。
- ◆ 本機は、インタラクティブなツールです。さまざまな信号レベルや、あなたのタッチに対して、異なる反応を示します。例えば、より強い信号と強いタッチで演奏すると、ゲインレベルが増加し、よりオーバードライブなサウンドに。逆に、弱い信号と軽いタッチでは、ゲインレベルを減少させ、よりクリーンなサウンドにします。
- ◆ 本機のコントロールは異常に緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。最大の結果を得るためには、すべてを最大に設定する必要はありません。  
最適な設定を見つけるには、12 時のトーンコントロールから始めて、必要に応じてカットまたはブーストします。設定はアンプや環境によって大きく異なるため、その都度最適なサウンドを探してください。
- ◆ 本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールは異常に敏感であり、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力を必要としません。本機に入るノイズを最小限に抑えるために、エフェクターは、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。シングルコイルピックアップはノイズを生成する可能性が高くなります。しっかりとノイズ対策を行ってください。
- ◆ バッファードバイパスは、「トゥルーバイパス」のポップとクリック、および複数のペダルを接続したときの高音痩せなどの欠点や、スイッチング回路や長いケーブルによる信号のロスを軽減します。
- ◆ テック 21 のすべてのペダルは、スムーズなカスタムアクチュエータを採用したフットスイッチを採用しています。他社製品のようなクリック感はありませんが、静かでスムーズな操作性を実現します。